

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名：微生物病研究所

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 同研究所所属教員の論文(小児下痢症の主要病原ウイルスであるロタウイルスの人工合成に世界で初めて成功)が PNAS 誌(IF:10)に掲載され、新規ワクチンの開発に向けた大きなブレークスルーとして多数のメディアで紹介されるなど、顕著な研究成果をあげていることが評価できる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 平成 28 年 4 月に、アウトリーチの推進を目的として広報室を設置し、中学生や高校生を対象としたイベントを開催するなど、ターゲットを明確にしたアウトリーチイベントを多数開催したことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。